

日本看護歴史学会 會報

日本看護
歴史学会
第46号
2006年7月1日

日本看護歴史学会 第20回学術集会開催にあたって

学術集会長 芳賀佐和子（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）

長雨が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年も日本看護歴史学会学術集会開催のお知らせをする季節が巡って参りました。本学会は昭和62（1987）年に亀山先生方のご努力により京都で産声を上げ、今年で20回を迎える事となります。

この記念すべき第20回日本看護歴史学会学術集会を8月25日（金）、26日（土）に東京都港区西新橋の東京慈恵会医科大学・西新橋キャンパスで開催させていただきました事になりました。この地は日本の看護教育発祥の地です。そして明治18（1885）年に一民間人医師である高木兼寛によって創設された有志共立東京病院看護婦教育所を源流とする慈恵の看護を繋いできた地でもあります。平成11（1999）年には、慈恵看護教育100年を記念して建立いたしました「慈恵看護教育発祥の地」の記念碑が港区の史跡に認定されました。学会当日には皆様にご覧いただけるようお待ちいたしております。



さて、日本看護歴史学会第20回学術集会のテーマは「歴史を拓くー看護教育120年を未来に繋ぐー」といたしました。日本の看護教育が開始されてから120年余りがたちました。その間の社会の変化や看護教育の変遷の中で、看護は専門職を目指して努力してまいりました。本学会では、歴史的歩みの中で得られた看護の叡智を集結し、今後の発展に繋げていきたいと思っております。歴史は「出会いの蓄積」とも言われています。学会では看護者の教育や実践のあり方について、過去・現在・未来を歴史的視座でみつめ、教育や臨床現場の方々とともに

よりよい看護の発展と歴史研究の方向性について討論し、一人一人の想いを次の世代の人々へと繋いでいきたいと願っております。

会長講演は「慈恵の看護を拓いたナースたち」と題して、日本で最初の看護学校を卒業した慈恵のナースたちの看護実践の足跡と日本の看護における意味についてお話ししたいと考えております。

特別講演は順天堂大学客員教授・日本医史学会理事長の酒井シヅ先生に「日本の看護と高木兼寛先生」をテーマにお話をいただく予定です。

シンポジウムは「歴史研究の可能性」をテーマに、東京女子大学の小檜山ルイ先生には日本の草創期看護教育に影響があった女性宣教師について、順天堂大学医史学研究室の月澤美代子先生には科学史・医学史と歴史研究の可能性をお話しいたします。

シンポジウム終了後の懇親会は、愛宕山東急インで学会創立20周年を祝う楽しい会になるよう企画しております。

2日目の交流セッションは6つのテーマが準備されています。「江戸時代の看護書『病家須知』から現代に繋がる看護を考える 話題提供者：中村節子氏」「ナイチンゲールの看護教育観から日本の看護教育の歴史を再考する：佐々木秀美氏」「ハンセン病患者の看護実践の歴史を語る：河野和子氏」「戦後の看護管理の歴史を掘り起こす：内田卿子氏」「男性看護師の養成の歴史を学ぶ：山崎裕二氏」「まだ日本で知られていないフランス看護の歩みを学ぶ：刀根洋子・佐藤典子氏」

一般演題は口演15題、示説6題です。

学会期間中に、慈恵看護教育の歩みをご覧いただけるよう準備もすすんでおります。学術集会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

日本看護歴史学会第20回学術集会のお知らせ

日本看護歴史学会は今年で創立20周年を迎えます。この記念すべき年の学会は日本の看護教育発祥の地である、東京慈恵会医科大学（西新橋キャンパス）で開催します。学術集会では日本の看護教育120年の歴史を未来へ繋ぐことをテーマに掲げております。会員の皆さま、そして看護の歴史に関心をお持ちいただいている皆さまに、是非お運びいただき、学術集会を盛りたてて下さいますよう、お願いいたします。

メインテーマ 歴史を拓くー看護教育120年を未来へ繋ぐ

会期と会場 東京慈恵会医科大学西新橋キャンパス

2006年8月25日（金）12：00～16：30
（大学1号館3階講堂）

8月26日（土）9：30～15：30
（慈恵看護専門学校）

1日目：プログラム 8月25日（金）

12：00	受付
13：00	開会
13：10	会長講演
14：00	特別講演
15：15	シンポジウム
17：20	学会創立20周年記念パーティ （新橋愛宕山東急イン）

会長講演「慈恵の看護を拓いたナースたち」

会長：芳賀佐和子（東京慈恵会医科大学）
司会：依田和美（元大阪府立看護大学医療技術短期大学部）

特別講演「日本の看護と高木兼寛先生」

講師：酒井シヅ（順天堂大学客員教授・日本医史学会理事長）
司会：草刈淳子（愛知県立看護大学名誉教授・前学長）

シンポジウム「歴史研究の可能性」

シンポジスト
月澤美代子（順天堂大学医史学研究室）
「歴史研究の方向性を探るー科学史学、医史学の立場から」

小檜山ルイ（東京女子大学現代文化学部）
「女性・キリスト教・家庭ー女性宣教師が構想した看護教育」

座長：藤村龍子（国際医療福祉大学）
平尾真智子（東京慈恵会医科大学）

2日目：プログラム 8月26日（土）

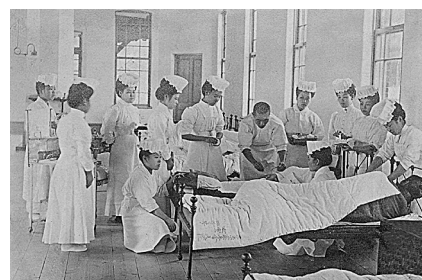
9：30	受付
10：00	交流セッション
11：45	昼食
12：30	総会
13：00	一般演題（口演、示説）
15：30	次期会長挨拶、閉会

【交流セッション】

- 江戸時代の看護書『病家須知』から現代につながる看護を考える
話題提供：中村節子 司会：坂本玄子
- ナイチンゲールの看護教育観から日本の看護教育の歴史を再考する
話題提供：佐々木秀美 司会：高橋みや子
- ハンセン病患者の看護実践の歴史を語る
話題提供：河野和子 司会：岸本多恵子
- 戦後の看護管理の歴史を掘り起こす
話題提供：内田郷子 司会：住吉蝶子
- 男性看護師の養成の歴史を学ぶー看護教育のジェンダー問題を考えるために
話題提供：山崎裕二 司会：日下修一
- まだ日本で知られていないフランス看護の歩みを学ぶ
話題提供：刀根洋子・佐藤典子
司会：川原由佳里

【一般演題：口演 第1会場】

- 『普通看病学』と“Notes on Nursing”
；後藤啓子
- 終戦直後の看護教育書籍から分析する「基礎看護法」；樺山たみ子
- 看護婦登録制度に関するナイチンゲールの所見；山崎律子
- 看護婦ナイチンゲールの誕生ー近代看護神話の語りなおし；鈴木和代
- 慈恵における看護管理の変遷ー近年を中心として；大水美名子
座長：名原壽子



第20回学術集会のポスターに掲載した写真
～東京慈恵会医院の病室（大正時代）～

【一般演題：口演 第2会場】

6. 総合看護の発展の経緯について金子光氏が考えていたこと－雑誌『看護教育』の記事を探る；熊田栄子
7. 第二次世界大戦中の沖縄県立沖縄病院附属看護婦養成所における看護教育；上里利恵子
8. 山形市立病院済生館甲種看護婦養成所開学の経緯に関する研究－医療法による看護婦定数不足の見込みと乙種看護婦養成所設置への傾倒を中心に；大沼優子
9. 戦前の広島県における看護婦養成の足跡；迫田千加子
10. 明治期の宮城県における看護婦の教育制度と身分法の成立過程－宮城病院における看護婦養成開始の経緯；小山田信子 座長：田中幸子

【一般演題：口演 第3会場】

11. 明治期における陸軍看護システムの変遷と軍服の変化；鈴木紀子
12. 婦人共立育児会附属慈善小児病院について；駒松仁子
13. 呉秀三の病院改革を支えた看護人清水耕一；鷹野朋美
14. 明治時代の精神病院及び看護の状況について；澤田恵子
15. 沖縄県におけるハンセン病患者の在宅治療及び委託治療と看護活動；仲里幸子 座長：福本 恵

〈連絡先〉

〒182-8570
 東京都調布市8-3-1
 東京慈恵会医科大学医学部看護学科
 基礎看護学研究室内
 日本看護歴史学会第20回学術集会事務局
 TEL：03-3480-1151内線2742（研究室13）
 FAX：03-3480-4739
 e-mail：taikai-20@jikei.ac.jp

〈最寄り駅から会場までの経路〉

- 1) JR線：新橋駅から徒歩約20分
- 2) 地下鉄
 銀座線：新橋下車（8出口）徒歩約20分
 虎ノ門下車（1出口）徒歩約15分
 日比谷線：神谷町下車（3出口）徒歩約15分
 都営三田線：御成門下車（A5出口）徒歩約5分
- 3) バス
 ①東京駅丸の内南口（目黒駅経由）←→等々力
 慈恵会医大前下車
 ②目黒駅←→日本橋三越 御成門下車
 ③目黒駅←→東京丸の内南口 御成門下車

【一般演題：示説会場】

16. 看護技術教科書にみる「安楽」の導入時期と内容（第1報）－保助看法成立以降昭和42年カリキュラム改正まで；近藤誓子
17. 岡山県における保健婦養成の起源－岡山女子厚生学院第一期生（第二種）の教育を中心に；二宮一枝
18. 京都看病婦学校第6回生卒業生西山徳の看護活動；竹中京子
19. 日本赤十字社の災害救護関連規則の歴史；川原由佳里
20. 長野県における地域新聞にみる戦前の衛生知識の普及；湯本敦子
21. 基礎看護学（看護の変遷）に歴史的文献を活用して－平野鏡『看病の心得』を用いた授業展開；田辺洋子 座長：山本捷子

参加費	事前申し込み	当日
会 員	7000円	8000円
非 会 員	8000円	8000円
学 生	2000円	2000円
パーティ会費	3000円	3000円

* 事前申込期限 2006年8月15日

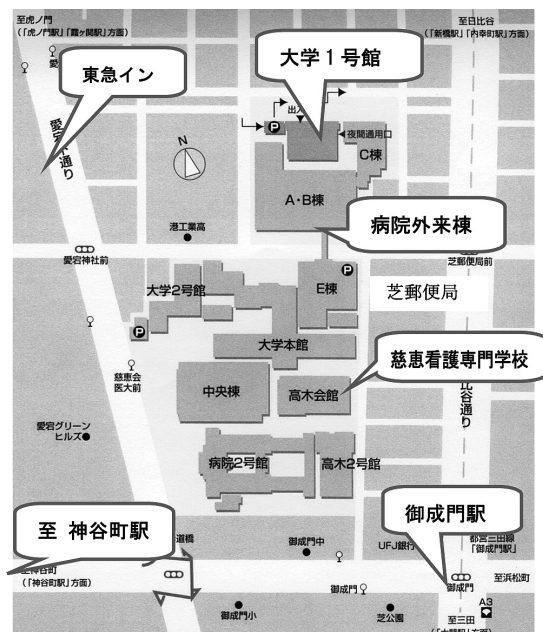
振込先 郵便局00160-0-761033

加入者名 日本看護歴史学会第20回学術集会

★東京慈恵会医科大学キャンパス案内図★

学会1日目（8/25）：大学1号館

学会2日目（8/26）：慈恵看護専門学校



新入会員紹介(敬称略)

* () 内は会員番号

黒田 裕子 (05-030)	澤田 恵子 (05-036)	舟越五百子 (05-042)
植田喜久子 (05-031)	鈴木 和代 (05-037)	迫田千加子 (05-043)
山崎 律子 (05-032)	永田 万紀 (05-038)	田村 和恵 (05-044)
二宮 一枝 (05-033)	熊田 栄子 (05-039)	田辺 洋子 (05-045)
蝦名 総子 (05-034)	須藤 絹子 (05-040)	
菱竹美和子 (05-035)	駒松 仁子 (05-041)	

お知らせ

～日本看護歴史学会創立20周年事業
プロジェクト委員会から～

メンバーと写真を募ります

日本看護歴史学会創立20周年事業プロジェクト委員会では、2006年1月7日に会議を開催し、写真集の概要を決定しました。

◆テーマ

「歴史のなかでナースが求める看護」または「歴史のなかでナースが行ってきた看護」(仮称)

◆特徴

- ①史料としての価値があるもの
- ②範囲は1925(昭和元)年～現在まで

◆小テーマと責任者

- ①戦争と看護(大石杉乃)
- ②災害と看護(高橋みや子)
- ③看護の制度と教育(氏家幸子、草刈淳子)
- ④看護の学術団体(平尾真智子)
- ⑤疾患や医療テクノロジーの変化と看護
(川原由佳里、川嶋みどり)
- ⑥看護技術(川嶋みどり、氏家幸子)
- ⑦看護管理(草刈淳子)
- ⑧外国看護の移入(川嶋みどり、大石杉乃)

メンバーになることを希望する会員は、日本看護歴史学会第20回学術集會会場で、小テーマの責任者に直接、申し出てください。または、東京慈恵会医科大学医学部看護学科・大石杉乃宛(kiso2@jikei.ac.jp)にメールにてご連絡ください。メンバーは、小テーマの責任者が決定いたします。

本年度の理事会で、次年度開催地が決定しました。詳細は第20回学術集會時の総会で報告します。

〰〰 日本看護歴史学会第21回学術集會 〰〰

テーマ 看護歴史を学ぶ(仮題)
～仏教系の看護婦養成～

会長 福本 恵
開催日 平成19年9月1日(土)2日(日)
会場 京都府立医科大学医学部看護学科
京都市上京区清和院口寺町東入
中御霊町410

本学術集會では、歴史的あゆみの中で築かれた看護の叡智を掘り起こし、今後の看護の発展に繋げていきたいと考えています。第21回学術集會は、宗教と看護、特に仏教系看護婦養成の取り組みを中心にする予定です。皆様とよりよい意見交換ができますことを期待しております。

年会費は6000円です

本学会は、皆さまからの会費収入で運営しております。ご協力をお願いいたします。なお、年会費を未納されますと会則6条の規程により、会員の資格を失うこととなりますので、ご留意ください。

学会事務局

加入者名 日本看護歴史学会
口座番号 01010-1-52185

編集後記

本号から文字を大きくし、ファイルしやすいように穴を開けました。会報も変化(進化)させていきたいと思っております(す)

日本看護歴史学会会報 第46号

企画・編集 高橋みや子(山形大学)
大石杉乃(東京慈恵会医科大学)
発行責任者 田中幸子(北里大学看護学部)
事務局 〒228-0829
神奈川県相模原市北里2-1-1
北里大学看護学部 田中幸子
Tel&Fax 042-778-9826
e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp